

堂々立派新聞

発行所
堂々立派新聞京都本社
京都市中京区六角通烏丸東入ル
大塚六角ビル2階クラブフェイム内
郵便番号604
編集発行人/西崎修平
デザイン/ゆさたろう

◆今月のお言葉◆
あいにく課長は
席でハズして
おります。
【意味】 オヤジのギャグは
つまらない。
伏見区 でこ小僧

バーの売上向上目指し結成

「普通の春を迎えさせたい」

さる十一月十八日、三条木屋町の雑居ビルにある、売上に悩むバーからの要請で「店長に特にすばらしくなくてもいいから普通の春を迎えさせよう」と京都在住の青年がその救済活動に立ち上がり「越冬対策委員会」を結成、救済に乗り出したが「一見さんが来店しにくい」「客層が若すぎる」など、肝心の店そのものかなり問題点が多く、資金や人手も不足しているため救済活動は難航しそう。

三条木屋町に越冬対策委員会



客がひとりもないバラモンの店内(写真上)。日曜の夜でこのありさまだが駒田店長は屈託なく笑っている。
サビついた路上看板(写真右)。これだけを見れば店名は読めるが、街中を歩いていると絶対目にとまらない。



めしているためあまり飲めない⑥置いてある酒の主体がラムなのは悪くないが、サロンのような味のルートビアキール、ココナツリキールなど、万人向けでないものも多い⑦入り口が木のドアで建て付けが悪いうえに、ドアが自然に閉まるよう滑車にヒモを通して、カナヅチをブラ下げているため貧相⑧ヒップホップバーといながらヒマなときには「アルプスの少女ハイジ」など古いアニメ主題歌をかけていて一貫性がない⑨店長の風貌が伸びたドレッドヘアのヒゲ面で、サッカー米代表のララスのようだが、やや小柄で太っている、としており、解決には時間と人手がかかりそう。

同委員会の会長は京都市上京区在住の大塚祐二さん(26)。また救済措置をお願いしているのは、三条木屋町下ルの雑居ビル「ニュー京都ビル」の3階にある「HIP HOP BAR BARAMON」(駒田峰人店長)。

「BARAMON」は、今年二月初め駒田現店長の就任と同時にこれまで使用してきた店名「オールナイトばらもん」を現在のものに改めたが客足は一向に伸びなかった。駒田店長は収益が上がらないためヒマなうえに金もなく悩んでいた。

客をつかめない問題点を、①場所がわかりにくい②店名看板がサビついていて読めない③ビルのソデ看板に書かれた店名が以前のままで④客層が二十歳そこそこ若すぎるため、長時間店内にいるわりには金を使わないうえに常連しか来ない⑤二軒目か三軒目にくる店の印象が強く、すでにきこし

今後の活動を大塚さんは「草の根運動的にいるんな人

を一回は連れていき、ネットワークを広げようと思うが、当面の目標は駒田に髪を整えてヒゲを落とさせること」と語っている。
大塚さんは湾岸戦争直前のイスラエルで自治体・キブツの救済活動に励んでいたジュビロ磐田のスキラッチに似た好青年だが、はたして「BARAMON」に普通の春はくるだろうか。

「BARAMON越冬対策委員会」では金持ちの会員を募集中。申込は電話で(〇六)九一〇一五九六一ゼネラルプランニング(有)担当/大塚
大阪市 ユウキは本気
「ここワシも1回行った。本当にヒマそうだった。申し訳ないが笑ってしまった。」

めざせ」
堂々立派新聞は京都サンガを京都人並みに応援します。

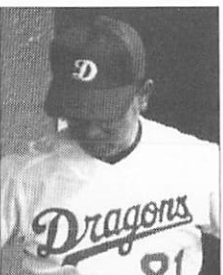
社会党右派ははや再分裂

日本社会党は、山花貞夫前委員長が離党「リベラル新党」を結成したのに続き、村山委員長率いる右派と上田哲察院議員が中心となった左派の間で対立が激化。一七日、左派が離党届けを提出、新党を結成、完全に分裂した。

なんとしても政権にしがみつきたい右派と社会党本来の理念に生きたい左派との間は村山政権発足前後から急速に悪化、党大会でも村山委員長と上田議員との間で激しい論戦を展開していたが、村山委員長が首相路線をことごとく覆す発言

▼なんのために知らせているのかわからないお知らせ、というものが世の中にはたくさんある。有名なのが「落石注意」の標識だ。落石注意っていわれたって「落ちてこないように注意する」ことはできやしないし、落ちてきちゃったら注意もへったくれもない「当たらないように祈る」しかテはない▼若いおかささんの乗ったクルマに表示してある「子どもが乗っていません」というのもそう。「子どもが乗っているのに速く走れませんよ」という意味なのだろうが前を走っているクルマの遅い理由がハッキリしたところでイライラは解決されない▼先日テレビで大笑いするテロップに「お目にかかった。日曜日の昼すぎに、震度三くらいのちよつと大きめの地震があったのだ。NHKはさすがに早い、五分もしないうちに『地震情報』の文字が出た。『おお！さすが有料。情報が早い！』と感激して見ていたら『〇時×分、地震がありました』うんうん、震がありました」うんうん、『詳しいことはわかり次第お伝えします』▼つまりNHKは「地震だよお」と、「詳しいことはよくわかりませんけど、地震だったんだよ」とだけ教えてくれたのだった。速報性とはそういうものではないだろうか？伝達速度の速いことは価値のひとつだが、ひとつでしかないともいえる。あまり大雑把に伝えられたところで役に立ちはしないのだ。速さばかり競わないでちやんとわかってから知らせてほしいもんだと「ウソばかり書いてある新聞」の発行人は思ったのだった。

中日にあった。216などという大敗は考えられない。昭和四八年に阪神があと一勝のところで優勝を逸したとき、最終戦直前になつて当時監督だった金田正泰に「負けたらどないや」といった球団幹部がいたが、ドラゴンズにもそんなことがあつたに違いない」と陰謀の存在を考えていたが、この結論に「モリミチ（高木監督）は監督を続ける限り、家が倒壊してもガマンせんとかんだワ」と語った。



高木監督の話

私がおかしくなることは知っていた。シーズン中に一度辞意を表明したのはこのままだったら家が分解してしまふと思つたからだ。私の辛さも分かつてほしい。

城陽市 島山寿一
「どうでもいいけど昨年は『巨人が優勝したのか長嶋が優勝したのか』日本テレビと報知新聞に聞きたい。長嶋長嶋と騒ぎすぎて優勝メンバーが誰なのか五年たつたら絶対思い出せない。」

四条河原町で発泡事件 待ち合わせの数名犠牲に

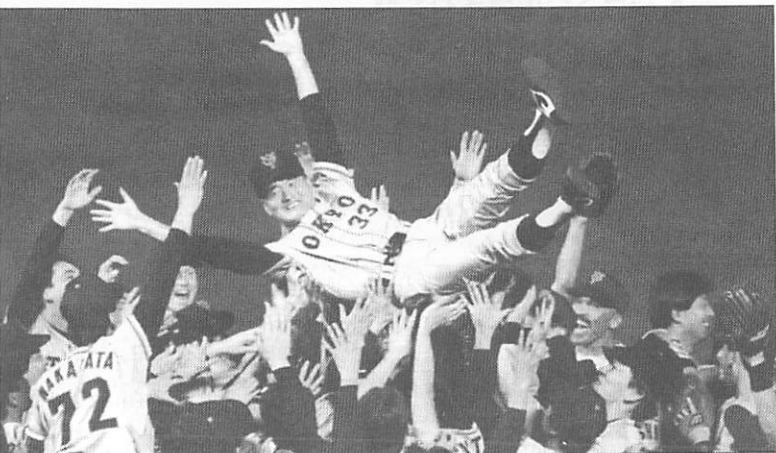
十三日午後十一時二三分頃、四条河原町東南角の阪急百貨店前で、待ち合わせをしている若い男女に対し「ええもん聞かせたろか」と近づき、耳元で発泡スチロールをこすりあわせてキコキコいわせて楽しんでい

た男が五条署に逮捕された。この事件で数名の男女が不快感を訴えるなどの大惨事となった。
北区 きききこ
「実はこういうの大好きなんだけど、じ、字面が……。おっしいなあ！」

中日の大敗に疑問をもちその原因を調査していた。京都愛知県人会会長で熱烈な中日ファンの犬山成太さん(33)をリーダーとするプロジェクトチームの研究発表「露橋の悲劇

10・8の大敗はなぜおこつたか」によると「10・8D G決戦」での中日の最大の敗因は中日・高木守道監督が家の一部を修理したためという。発表によると、十月八日、同監督は自宅の玄関ドアのちようつがいを止めるネジがゆるんでいるのを発見、これを締め直したことが今中投手のKOに直結したらしい。

研究発表は以前にも同監督が曲がっていた柱時計を直したところ、その日からチームが四連敗したり、引き戸の立てつけを直したとたん主砲大豊が大スランブに陥つたりしたことを指摘している。強風で飛んだ屋根瓦のあとに板を打ちつけた日からチームが八連敗したこともあるらしい。犬山会長は「露橋の悲劇」の研究を始めた動機について「直前の試合までチームの勢いは、巨人よりむしろ



巨人優勝の原因は高木監督の勇み足 京都愛知県人会が発表

プロジェクトチームにより一日発表された。同プロジェクトチームは「10・8D G決戦」といわれた中日×巨人最終戦(ナゴヤ球場中日216巨人)の終了直後か

派完全分裂

危機はらみ

上田議員が「もう一つで行けぬ」と反旗を翻したもので新党の名を「真社会党」とし、委員長には上田氏の就任が決まっている。これを対して右派の村山委員長も党名変更を強行、「今後社会党右派は『リベラル社会党』を名乗る」と発表した。村山委員長の党名変更発言について真社会党の上田新委員長は「さもあらなでずな」と冷やかな感想を述べた。ただし真社会党内には「時期尚早ではないか」や「もう少し与党気分を満喫したかった」という正直と

も馬鹿正直ともとれる右派よりの声があり、またリベラル社会党内にも「なんでまた『リベラル』などと居直つたような名前に……」という比較的左派よりの意見があることから「両党が再び右派と左派に分裂するのではないか」という関係者の危惧の声も出ている。これについて村山、上田両委員長は「どうせ分裂騒動を繰り返していくなら、いっそのこと『セル社会党』という党名にして、最後のひとりまで果てしなく分裂していったらどうか」と妙に一致した見解を述べた。セルは英語で細胞の意。
南区 ガンバレ共産党
この件について共産党の不破哲三委員長に感想を聞いたら「日本共産党こそ真の野党です」とへんな自慢をされてしまった(嘘)。